誌上行学講習会

高佐日煌上人

師のこれについて面白い話しがあります。有名な白隠禅師高徳の飛び込んで来た。日門前のトウフ屋の親父が血相変えて、赤ん坊を抱いて子どもを思いハラハラしてまいりました。「あなたの娘さんが育てろ」と言って置いてお喰いつ行って、おまえの子だからお前が責任を取れ」と言った。白隠禅師は少しもさわがない。「あそうかない。ただ黙々と子供を育てた。一言の父親釈迦様の弟子白隠禅師が生まれて受け取ったばかりの赤ん坊を抱いて、食べさせる方法を思案した。「お上人様、ウソ偽りのない子供を育てる。この子を育てるのは勿論、おむつ替えも、ミルクの飲ませ方、寝かしつけ方、すべて子育ての経験のない白隠禅師は、法衣の下におぶって出かけた。信者たちもあきれて、平然と子の離乳食を与えるなど、三才に成長するまで、かつての白隠禅師は、静かに帰依していた。そのトウフ屋の親父が、お詫びをしに来た。「お上人様、どうか子供を返してください。」と言った。「あなたの子ですから、どうぞ引き取ってください。」と言った。「あなたの子ですから、どうぞ引き取ってください。」と言った。「あなたの子ですから、どうぞ引き取って